

超耐酸性を使用し10年保証に対応する構造物補修(塗布型ライニング工法)

A・Bエポマー工法



A・Bエポマー工法は、エポキシ樹脂をベースとした上下水道向け塗布型ライニング工法です。上下水道施設、ビルピット、農業集落排水処理施設、工場排水処理施設を対象とする防水・防食工事に対して、要求性能に応じた工法をラインナップしております。

A・Bエポマー工法の特徴

■下水道処理施設

- ① C種、D種においても、ガラスクロス、マットを使用せずに(ノンクロス工法)施工が可能で、工期短縮が図れます。
- ② ブラックライト発色管理工法を採用しており、ピンホール、塗り斑が早期に発見できる為、施工品質が安定します。

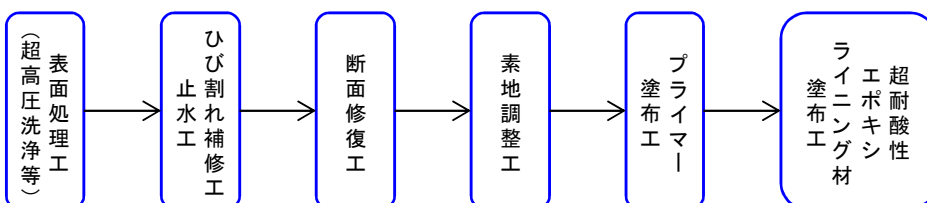
■上水道処理施設

- ③ ビスフェノールF型エポキシ樹脂を使用した無溶剤型ライニング材料です。
- ④ 最大1mmの追従性を可能にした弾性素地調整材もラインナップされております。(微細クラック追従工法)

A・Bエポマー工法対応工法一覧(ライニングシステム)

対象構造物	工法概要
下水道処理施設	エポキシ樹脂ライニング(A、B種)、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング(補強材積層仕様:C、D種)
	エポキシ樹脂ノンクロスライニング(積層仕様:C、D種)、シートライニング(サンシートS600工法:D種)
ビルピット	エポキシ樹脂ノンクロスライニング(積層仕様)
工場排水処理施設	ビニルエステル樹脂プリプレグシートライニング(補強材積層仕様)
上水道処理施設	エポキシ樹脂ライニング、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング(補強材積層仕様)
農業集落排水処理施設	エポキシ樹脂ライニング(1、2種)、エポキシ樹脂ガラスクロスライニング(補強材積層仕様:3種)

A・Bエポマー工法 施工フロー



A・Bエポマー工法の防食ライニングシステム

下水用ライニング工法(下水道事業団防食指針適合)

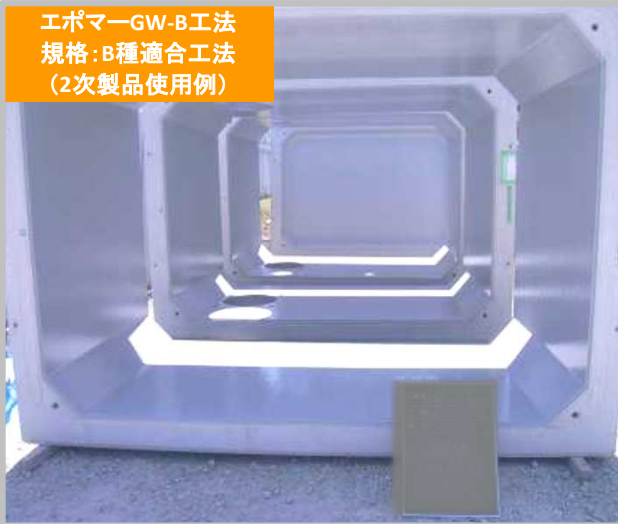
エポマーGW-202-D工
法規格:D種適合工法
(ノンクロス仕様)



エポマーGW--A工法
規格:A種適合工法



エポマーGW-B工法
規格:B種適合工法
(2次製品使用例)



シートライニング工法
規格:D種適合工法
(サンシートS600工法)



その他防食ライニングシステム



上水用ライニング工法
(エポマーP-800)

工場排水処理施設(薬液槽等)
(エポマーGP-303/VE-200)



農業集落排水処理施設
(エポマーNW)

この内容は2019年7月現在のものです